



http://www.minamih.net/
15・6・14(日)
南NEWS NO24

本や新聞を読んで、自分で判断・選択する力を
土日の午前中の練習で、矢上はCクラスや少女の練習
を観ながら、休憩時間には子どもたちにパネルシアター
をしたり、読み聴かせ、英語の歌を一緒に歌ったりして
います。

先々週は“ロックマイソウル”の英語バージョンのプ
リントを配り、少女やCクラスの子もたちと歌い、踊
りました。

先週土曜日の午前中の練習では、休憩時間に寺子屋で
Cクラスの子も達に絵本「ダジャレ日本一周」を読ん
であげました。そうしたら、嬉しいことに、一昨日の金
曜日の午後練の休憩時間、1年生の名嘉君が

「ダジャレ日本一周を図書室で借りて、家で読んだよ。
何度も読んだよ。」

と私に話してくれたのです。
嬉しいです。寺子屋で読んでもらった本を自分でも読
みたい思ってくれたのです。初めてです。

南の子もたちにはどの子も本が大好きになってほしいです。
本や新聞を読むことは遠く広く学ぶことになり、自分の意見を
堂々とと言える人になる基ができます。自分で判断、選択して、理由
を述べて自分の考えを言える人になることができます。

18歳で選挙権が与えられるようになります。みんなが幸せになるために判断力
・選択する力が必要になります。読書力は不可欠です。 by 南のアンパンマン



2015年度南招待の参加チームが決定しました。

<2015年度 南招待日程・招待チーム>

- 1年生 7月4日(土) 文化大G 6人制
チーム名 青梅 西原 富士見丘 白百合 東八王子 愛宕 高尾
- 2年生 7月11日(土) 文化大G 6人制
チーム名 青梅 西原 富士見丘 白百合 東八王子 愛宕 陶鎔元八
- 3年生 10月17日(土) 文化大G 6人制
チーム名 青梅 エルマ 西原 富士見丘 白百合 大和田 高尾
- 4年生 11月28日(土) 文化大G 8人制
チーム名 青梅 エルマ 西原 富士見丘 白百合 東八王子 愛宕
- 5年生 2月11日(木) 文化大G 8人制
チーム名 青梅 西原 富士見丘 白百合 東八王子 愛宕 陶鎔元八
- 6年生 12月13日(日) 文化大G 8人制
チーム名 青梅 西原 富士見丘 葉山緑・白 白百合 東八王子
- 少女 3月26日(土) 文化大G 8人制
※少女の参加チームは未定です。

1・2年生は暑い中での招待になりますが、自分のめあての達成めざしてGAMB
Aってほしいと思います。練習した技を全部使ってチャレンジ！チャレンジ！試
合を楽しんでほしいと思います。

宇佐見選手のように名ドリブラーになりたい、いつか日本代表になりたいという
大きな夢を持ってチャレンジしてくださいね。

さあ、ドリブルで何人抜けるかな？どんな技が使えるのかな？どんなターンが使
えたかな？自分でも確かめてテクニカルカードに記入してくださいね。

by みんなを応援している南のアンパンマンより

矢上が八王子の教育センターで初任者教員の教育アドバイザー(授業を観て評価。
指導をする)をしているときの初任者向けの資料です。

南の子もたちにも読んでらい、学んでほしいのです。

参考資料

H20・1・22

児童・子どもたちの直接参加：選択アイデンティティ

①16年前、6年生を担当していた3学期、国語の読み取り教材に投げ込みで「狼
の森と策森、盗人森」(宮沢賢治)の授業をしました。一文、一字一句にこだ
わる精読法を基盤に「一読総合法」の手法を取り入れて授業をしたのです。

導入で教師による範読、児童の通読もありません。その日の授業で読み取るペー
ジだけを印刷して配り、児童に一人読みをさせ、疑問に思うところ、自分の解釈が
よいかどうか、どう読み取るかみんなで話し合いたいところをそれぞれに出させま
す。そのページを拡大した物を黒板に貼り、それぞれが出した疑問、読みの課題を
行間に書いていきます。

そして、1行目から読みながら、出された疑問、読みの課題について話し合いを
していきます。疑問、課題を出した児童の考えを聞いてから話し合いがスタートし
ます。児童は、自分が出した疑問や課題についてみんなで話し合い、結論を出して
いくのですから、みんな積極的です。

自然と人間の共生を謳ったこの作品は、環境学習、米作り、開墾して蕎麦・麦作
り、食する等の体験をしてきた児童にとって共感できる作品でもありました。児童
の中には、ふだんは学習に積極的でないのに

「先生、次も国語をやろうよ」

と言ってくる子もいました。



②指導しているサッカークラブの平成19年7月の河口湖合宿でのことです。

合宿が始まる時、

「コーチが教えて、こんな選手になるはずだというコーチが予定する通りに育
つのではなく(予定アイデンティティ…これも大切ですが)、自分たちで、これ
をもっと上手になりたい、この課題を解決したいからこの練習を したいと考え、
選択して取り組む選手、チームになってほしい(選択アイデンティティ)」
と子どもたちに話しました。

合宿3日目、3・4年生の子もたちは、ワンツープス、クロスからのシュート、
コーナーキックからの攻めと守りの練習をしたいと考え、選択し、コーチに伝え、
練習していました。いつもより積極的でした。コーチングも活発でした。やらされ
る練習ではなく、自分たちで青写真を描き、選択した練習だからです。

こんな選手・チームになりたいからこんな練習をと選択して育む自分らしさ：選
択アイデンティティ、とても大切です。お客様意識もなくなり、当事者意識も芽生
え、自立心と責任感が育まれます。思考力・判断力・選択する力・実行力・反省す
る力も育ちます。これも子どもの直接参加の意義あるところなのです。

八王子市教育センター研究主事 矢上 健一

